

2021 年 9 月改訂

貯法 室温保存

承認指令書番号

14 生畜第 1477 号

販売開始

昭和 42 年 8 月

生菌製剤

動物用ビオスリー® BIO-THREE® for ANIMAL

【本質の説明又は製造方法】

家畜の疾病を防ぎ、特に子豚・子牛の下痢を予防し、栄養吸収を良好にして成長を促進すること及び成畜のストレスを防止することは生産性向上と共に畜産経営の安定・健全化にとって重要な課題である。

動物用ビオスリーは、3種の優れた有用活性菌が互いに共生することにより、単独よりも数倍活発に増殖し、しかも副作用なく腸内菌叢を整え、下痢を防ぐ優れた生菌製剤である。

【成分及び分量】

本剤は 1g 中に下記成分を含有する。

有効成分	含量
ラクトミン（乳酸菌）	20mg(7×10^6 個以上)
酪酸菌（ <i>Clostridium butyricum</i> TO-A）	20mg(2×10^5 個以上)
糖化菌	20mg(3×10^5 個以上)

【効能又は効果】

単純性下痢の予防、治療

【用法及び用量】

成牛・成馬 : 1 回 50～200g

子牛・子馬・成中豚 : 1 回 20～50g

子豚・犬・猫・鶏 : 1 回 1～3g

上記量を 1 日 3～4 回投与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・変色が認められた場合には使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(対象動物等に関する注意)

- ・抗菌性物質との併用は避けること。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【薬理学的情報等】
(薬効薬理)

1. ラクトミン(乳酸菌) (*Enterococcus faecium* T-110)

本菌は家畜の腸内に繁殖しやすい菌種で、糖化菌・酪酸菌との共生により活発に増殖して乳酸を産生し、腸内 pH を低下させ、有害菌の増殖を抑制する。

(2021 年に *Streptococcus faecalis* から *Enterococcus faecium* に菌種名の変更を実施した。なお、名称のみの変更であり、菌株自体に変更はなく承認時より同一菌株である。承認時の菌種名は、*Streptococcus faecalis*)

2. 酪酸菌 (*Clostridium butyricum* TO-A)

本菌は、芽胞を形成し、耐熱性、耐乾性、耐薬品性に優れ、分裂増殖後、酪酸を産生し有害菌の発育を阻止する。また、各種酵素を産生し、デンプンの分解により炭酸ガスを発生して腸の蠕動を促進する。

3. 糖化菌 (*Bacillus subtilis* TO-A)

本菌もまた、芽胞を形成し、耐熱性、耐乾性、耐薬品性に優れ、分裂増殖後、でんぷん糖化酵素、蛋白分解酵素、ペクチン分解酵素および繊維素分解酵素などを産生する。本菌のでんぷん糖化作用により、腸内乳酸菌のエネルギー源となる。

(2021 年に *Bacillus mesentericus* から *Bacillus subtilis* に菌種名の変更を実施した。なお、名称のみの変更であり、菌株自体に変更はなく承認時より同一菌株である。承認時の菌種名は、*Bacillus mesentericus*)

【包装】

1kg(100g×10 包)、20kg(1kg×20 包)、20kg

【製品情報お問い合わせ先】

東亜薬品工業株式会社
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 2 丁目 1 番 11 号
TEL:03-3375-0511

製造販売元

東亜薬品工業株式会社
東京都渋谷区笹塚 2 丁目 1 番 11 号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。